

平成30年度第3回 鹿児島市清掃事業審議会 会議録

日 時：平成31年3月19日（火） 13：30～14：31

場 所：東別館9階 特別中会議室

【出席者：19名】

①審議会委員（10名）

三原委員、宮竹委員、新田委員、坂元委員、鶴田委員、内委員、川畑委員、田尻委員、向段委員、井上委員（会長）

②事務局（9名）

環境局長、資源循環部長、資源政策課長、廃棄物指導課長、清掃事務所長、北部清掃工場長、南部清掃工場長、環境政策課長、資源政策課管理調整係長

【次 第】

平成30年度第3回清掃事業審議会

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 事

(1) 報告事項

鹿児島市災害廃棄物処理計画（案）について

(2) その他

4 閉 会

【議事録（「議事」以降）】

発言者	発 言 内 容
会長	【報告事項「鹿児島市災害廃棄物処理計画（案）について」】 それではこれより議事に入る。議事はお手元に配付の次第に基づいて進めさせていただく。報告事項「鹿児島市災害廃棄物処理計画（案）について」事務局から説明をお願いする。
事務局	（資料に基づき説明）約39分
会長	ただ今事務局から説明がなされたが、この説明について、何か質問等があれば、出していただきたい。
委員	資料1の76ページ、職員への教育等について、災害ごみをどうするかという話からは少し趣旨が違うかもしれないが、小学校等が避難所になっている。市の職員が不足すると学校長や教頭先生が入ることになる。教職員への教育をするときに、市の職員でもあるので一管理者として、

発言者	発言内容
会長	学校に避難したときにはどうしてほしいということを、学校にも知ってもらったらいいのではないか。
事務局	そういったところの協力がないと物事が進まない。市の方ではどのように考えているのか。
事務局	教育委員会とも話をしたい。
委員	このような計画を作ったということが市民に浸透することが大事である。町内会でも防災訓練などしているが、避難だけの話である。このような対応が地域住民にも大事なので、市には、今後、PR・広報に努めてもらい、具体的に廃棄物をどのように処理するのかを、公民館長や業者なども交えて話し合いをしてもらいたい。
事務局	市民の役割ということで、簡単なチラシをつくって、機会を捉えて周知していきたい。
会長	処理計画の中で、灰についても扱われているのか。
事務局	灰や軽石は、別途、危機管理課で計画をたてている。
会長	桜島の噴火となれば、災害廃棄物と同時に出てきてしまう。そのあたりをうまく連携しておかないと、災害といわれるほどになるとかなりの降灰量になる。その処理はたいへん重要なので、部署が違うからということではなく、連携して総合的に、住民が最低限の生活ができるようにしてもらいたい。
事務局	桜島が爆発したときに灰や軽石は、億の単位で出ると想定されている。除去したものをどこに置くかというのがいちばんの課題である。災害廃棄物処理計画にも仮置場と記載している。置く場所も決まっているので、調整しながら、今も話し合いをしているので今後も協議していきたい。
会長	きちんとやっておかないと計画が機能しない可能性がある。処理計画に盛り込むのとは別に、庁内で対応策を出していただきたい。市民への情報提供はされるのか。
事務局	市民の役割を抽出して、チラシかリーフレットか考えたい。

発言者	発言内容
会長	両方で知識を共有していかないと、いざというときにうまくいかない。市民の広報用に作るものは、文字だらけにならないようにしてほしい。
事務局	概要版でも分厚いものとなったので、そのあたりは気を付けたい。
委員	鹿児島市のホームページに掲載されると思うが、その際には目次ごとにリンクを作成するなどしてはどうか。
事務局	市のホームページにはPDF化したものを載せる予定である。リンクについては、章ごとにPDFを分ける予定である。
会長	せっかく作ったのだから、章ごとに対応するような形にしてもらえたらありがたい。
委員	市民ができることは、こまめにごみを出すことである。普段からきちんとルールを守って、路上にはみ出さないようにするとあるが、今現在のごみステーションは道路沿いにある。今想定しているごみ置場がここでのいいのかということも考えないといけない。まずこまめにごみを出してもらうこと、分別して出すことが基本。今のごみ置場が災害時も問題ないのか、地元も含めて見直してもらいたい。
事務局	災害直後、身近な所にごみを出すのは仕方ないと考えている。今は、少しだけでもはみ出さないようにとかいうことを呼び掛けていくしかない。
委員	自宅近くの歩道がごみ出し場になっているが、テープを貼って50センチは空けて、通路を確保している。市民もごみを置くところを考えて協力しないとイケないと思う。
会長	町内の班単位など、小さい単位で考えていかないとうまくいかない。そうすると日ごろの広報も工夫していかないとイケない
委員	広報の仕方についてだが、市民のひろばにリーフレットを入れるような形になるだろうが、なかなか読んでくれる人はいない。ごみの分別説明会は町内会単位でもしたが、そのような形は考えていないのか。町内会長を集める会などもあるが、20分くらいもらって、市民が何をできるのかということだけでも教えていただきたい。鹿児島市は災害廃棄物処理計画を作ったということだけでも認識してもらえたらと思うが、そういうところを使うことはできないのか。

発言者	発言内容
事務局	地域振興課で町内会長やコミュニティ協議会の会長を集めることがあるので、そこで何分か時間をもらって説明しようと考えている。説明会や出前トークなどで分別の話をしている。そこで資料を配って話をするのもあるが、やり方については研究しているところである。
委員	町内会長は、ごみステーションのことも、町内のことも詳しい。そこをうまく活用して、「処理計画をつくった」ということを、市民の人に知ってもらうことがまず大事だと思うので、よろしくお願ひしたい。
委員	広報について、市ホームページのトップ画面にロゴマークの募集が出ていた。市の広報戦略室がやっていたが、これが終わったら、転入時期になるので、ぜひ、鹿児島のごみを減らしたら、ごみ袋が有料化になりませんといった内容のものを出してもらいたいと思った。ロゴマークより大事だと個人的には思う。
会長	<p>ご意見として承っておく。</p> <p>参考までに何うが、災害の種類によって災害廃棄物の出やすい住宅・建物、地域は特定できるはず。ある程度想定しておく、いざというときの対応が比較的早くできる。全市一律に考えられているが、例えば洪水だと川沿いが被害を受けやすいので、その地区からの災害廃棄物が出やすくなる。地震だと戸建住宅、特に古い建物が多い地区が多くなる。事前にシュミレーションしておく、いざという時の対応が上手くいくのではないかと思う。今後、そのあたりの備えもしておくといいと思う。熊本地震の時も、古い戸建住宅が壊れて、大量の災害廃棄物になった。他に意見はないか。お気づきの点があれば、個別に事務局にお伝えいただきたい。</p> <p>事務局から何かないか。</p>
事務局	会長からもあったが、お気づきの点があれば、来週までにいただいて、その後決裁などを経て、今年度末に策定と考えているので、よろしくお願ひします。
会長	<p>【その他】</p> <p>本日、用意された議事事項は以上であるが、その他に何かないか。無いようなら、本日は皆様のご協力で無事審議を終了することができた。</p> <p>30年度の当審議会は本日で最後になろうと思う。次回は5月くらいの開催予定だが、日時等決まったら連絡するので、よろしくお願ひします。それでは、本日の議事のすべてを終了する。</p>